

「お墨付き柿」中身で勝負

黒ずんだ表面、甘さしっかり

お墨付きの柿を味わって。一定の気候条件で現れる墨のような黒ずみを持った「お墨付き柿」のフェアが22日まで、大垣市高屋町のカネ井青果アスティ大垣店で開かれている。山田愛店長は「見た目で敬遠されるけど、皮をむけばきれいな果実。しっかり糖度があるので、食べてもらえば味の良さは分かる」と太鼓判。来店客はより黒ずんだ柿を選んで買い求めている。

(宮本寛)

大垣で販売

柿の品種は「早秋」。日当たりの良いほ場で、寒暖差で十分に糖度がのった頃に秋雨や朝露を受けると、表面が墨を塗ったように黒くなる。かつては規格外の扱いだったが、味が良いためJ A全農岐阜がブランド化。年によっては出ないが、

今年は気象条件が合ったという。J A全農岐阜の担当者「今年は例年以上に糖度が高く味が良い」と話す。大玉2個入り518円、4個入り842円。ほかに「太秋」やベビーパーシモンも販売。21、22日には、お墨付き早秋の生ジュースを併設のスタンドで味わえる。



「お墨付き」の柿をアピールする山田愛店長。大垣市高屋町、カネ井青果アスティ大垣店